

大正十二年—大正十三年

京都帝國大學發行

京都帝國大學文學部考古學研究報告

第八冊

近江國高島郡水尾村の古墳……………濱田、梅原
日本發見金製耳飾刀劍環頭同鹿角裝具聚成……………

京都帝國大學考古學部古學研究報告目冊

第一冊

肥後に於ける裝飾ある古墳及横穴……………濱田耕作、梅原末治
 著色圖版一葉 玻璃版等四十五葉 地圖一葉(大正六年發行) 絶版

第二冊

河内國府石器時代遺跡發掘報告……………濱田耕作
 河内高安及喜志石器時代遺跡調査……………梅原末治、島田貞彦
 河内國府肥後轟等にて發掘せる人骨……………鈴木文太郎
 著色圖版一葉 玻璃版等二十九葉 地圖一葉(大正七年發行) 絶版

第三冊

九州に於ける裝飾ある古墳……………濱田耕作、梅原末治、島田貞彦
 彌生式土器形式分類聚成(附録)
 著色圖版五葉 玻璃版等三十葉(大正八年發行) 絶版

第四冊

河内國府石器時代第二回發掘報告……………濱田耕作
 河内國府石器時代人骨調査……………長谷部言人
 著色圖版一葉 玻璃版石版十八葉(大正九年發行) 定價五圓

第五冊

備中國淺口郡津雲貝塚發掘報告……………清野謙次、島田貞彦
 肥後國宇土郡轟貝塚發掘報告……………濱田耕作、榊原政職
 著色圖版一葉 玻璃版五十三葉(大正九年發行) 定價五圓

第六冊

薩摩國出水郡出水町尾崎貝塚調査報告……………濱田耕作、島田貞彦
 出水貝塚の貝殻獸骨及び人骨……………長谷部言人
 薩摩國揖宿郡指宿村土器包含層調査報告……………濱田耕作
 玻璃版、石版三十九葉(大正十年發行) 定價四圓

第七冊

攝津高槻在東氏所藏吉利支丹遺物……………新出、新田耕作
 京都及其附近發見の切支丹墓碑……………新出、濱田耕作
 切支丹合字入鞍及南蠻人繪鞍……………濱田耕作、梅原末治
 日本發見銅劍銅鉞銅鍬聚成(附録)
 著色圖版二葉 玻璃版石版等四十六葉(大正十二年發行) 定價五圓

考古學研究報告第八冊正誤表

頁	行	誤	正
一九	七	第二五。	第二四。
二一	一五	(圖版第廿五下)	(圖版廿第四下)
三二	第九圖	本部古墳	部ヲ削ル
三三	三上段	考古的學	考古學的。
三四	三	同種の太刀や	同種の太刀や ⁽²⁾
同	一三	少々小さい ⁽²⁾	少々小さい ⁽¹⁾
六九	一〇ノ下段	魏の王泰の	五字ヲ削ル
八一	一〇ノ下段	(3)	(4)
同	一五ノ下段	(4)ヲ削ル	
一〇	二三ノ下段	博是は喜田士	是は喜田博士
圖版二四の下		同種輪	同種輪

ERRATA IN THE VOL. VIII. OF THE REPORT			
Cover	line	7	Read 1923-1924 for 1922-1923
"	"	10	Read S. Umehara for S. S. Umehara
Page	ii	26	Omit whole the line.
"	"	27	Read XXI for XXII
"	"	28	Read XXII for XXIII
"	"	29	Read XXIII for XXIV
"	"	30	Read XXIV for XXV

REPORTS UPON ARCHÆOLOGICAL RESEARCH

I. **Ornamented Tombs in the Province of Higo.**
 By Prof. K. Hamada & S. Umehara.
 47 plates. (1917.) *(Out of Print)*

II. **Excavation of a Neolithic Site at Kô.**... ..By Prof. K. Hamada.
Neolithic Site at Kishi and Takayasu.... ..By S. Umehara.
On the Human Skeletons found at Kô, &c.... ..By Prof. B. Suzuki.
 31 plates. (1918.) *(Out of Print)*

III. **Ornamented Tombs in the Island of Kiushû.**
Corpus of the Yayoishiki Pottery.
 35 plates. (1919.) *(Out of Print)*

IV. **Second Excavation at Kô in Kawachi.** By Prof. K. Hamada.
Study upon the Human Bones found at Kô. By Prof. K. Hasebe.
 1 coloured & 23 colotype plates. (1920.) *5 Yen*

V. **Excavation of the Shell-mound at Tsukumo in Bitchû.**
By Prof. K. Kiyono, S. Shimada & Prof. K. Hamada.
Excavation of the Shell-mound at Todoroki in Higo.
 By Prof. K. Kiyono, M. Sakakibara & Prof. K. Hamada.
 1 coloured & 52 colotype plates. (1920.) *5 Yen*

VI. **Excavation of the Shell-mound at Idzumi in the Province of Satsuma.**By Prof. K. Hamada & S. Shimada.
On the Shells, Animal Bones and Human Remains found in the Shell-mound at Idzumi.By Prof. K. Hasebé.
A Prehistoric Site at Ibusuki in Satsuma.... ..By Prof. K. Hamada.
 39 colotype plates. (1921.) *4 Yen*

VII. **Christian Relics found at Mr Higashi's House, north of Takatsuki.**By Prof. I. Shimmura.
Christian Tomb-stones found in Kyôto and its Neighbourhood.
 By Prof. I. Shimmura & K. Hamada.
Two Horse-saddles, one with Christian Coat of Arms and the other with Pictures of Portuguese.
 By Prof. K. Hamada & S. Umehara.
Corpus of Bronze Implements, found in Japan.
 2 coloured & 46 colotype plates (1922.) *5 Yen*

Archaeological Institute, Department of Literature,
 Kyôto Imperial University

近江國高島郡水尾村鴨の古墳

文學博士文學士

濱田耕作

梅原末治

附錄 日本發見金製耳飾、刀劍環頭及鹿角製刀劍裝具集成表

京都帝國大學文學部
考古學研究報告 第八冊

序言

近江國高島郡水尾村鴨の稻荷山古墳は早く明治三十五年に發掘せられ豊富なる遺物を出だし、其の一部は東京帝室博物館の所藏に歸したるが、本學考古學教室梅原教務囑託の其の實地に就き調査するに及びて、遺留の遺物なほ多く存するものあり、此等の遺物を綜合研究するの必要急なると共に、其の本邦古墳の考古學的考察の上に特殊の價値を有するものあるを明にしたり。之に於いて本教室は之が詳密なる調査を遂行せんことを期し、滋賀縣古蹟調査の當局及び村民有志諸氏と相謀り、其の援助を得て終に企望を完くすることを得たり。本報告書は即ち該古墳と其の發見遺物に關する研究を録するものにして、之に依りて我が考古學上最も興味ある一古墳の性質を明かにするを得ば、吾人の幸之に過ぎず。

余輩は本報告書の出版に際して、東京帝室博物館所藏の遺物の調査に向つて懇切なる助力と自由とを與へられたる同博物館歴史課長高橋健自君及同鑑査官補後藤守一君に深甚なる感謝を表す。又た滋賀縣史蹟調査の當局者たる室田瑞穂小島捨市兩君及び水尾村の高橋庄四郎、萬木常吉、兼田由松、中島富藏等諸君の熱心なる援助に感謝するのみならず、東京帝國大學教授文學博士鳥居龍藏君、京都帝室博物館鑑査官關保之助君、朝鮮總督府鑑査官藤田亮策君、本學講師中村直勝君及び助手島田貞彦君、囑託鈴木増太郎君、小野三正君等が各種の方面に於ける協力に向つて謝意を表せんと欲す。

本報告書の末尾には本邦發見鹿角製刀劍裝具、刀劍環頭並に金製耳飾の聚成圖表を添附せ

るは、既刊報告書に於ける諸聚成圖と共に、本教室に於ける遺物聚成作爲事業成果の一部にして、主ら梅原末治君の編纂に成る。

大正十二年八月

京都帝國大學文學部考古學教室に於いて

濱田耕作

目次

近江國高島郡水尾村の古墳

第一部 記述篇

第一章 古墳と其發掘

第一節 古墳の所在地と其外形

第二節 初次の發掘

第三節 其後の調査

第二章 古墳の構造

第一節 石室

第二節 石棺

第三章 發見の遺物

第一節 遺物の種類

第二節 土器類

第三節 裝飾品類

第四節 武器類

第五節 馬具類

目次

一頁
一
八
五
二
二
一四
一六
一六
一九
二三
二三
四一

第二部 論證篇

第四章 古墳の外形及石室石棺

第一節 古墳外形の復原

第二節 石室と石棺

第三節 遺物副葬の狀態

第五章 主要遺物の研究

第一節 金製耳飾

第二節 金銅製裝飾具

第三節 環頭太刀

第四節 鹿角製拵太刀及刀子

第六章 結論

第一節 古墳の築造年代

第二節 古墳の被葬者と其の示現せる文化技術

附録

日本發見金製耳飾、刀劍環頭、鹿角製刀劍裝具聚成表

圖 版 目 次

卷 首	鹿角柄頭皮袋入刀子(濱田)(着色版)	三六、三八
第一	水尾村古墳現狀及發掘石棺	一、四
第二	所在地並古墳實測圖 <small>(村役場所藏圖及中島、島田兩君實測)</small>	一、四、四九、五二
第三	上石棺及石室實測圖(梅原)	一四、一五、五二、五八
第四	上石棺開口及蓋部	一四、一五、五二、五八
第五	上石棺內部(俯觀)	一四、一五、五二、五八
第六	上石棺內部(側面觀)	一四、一五、五二、五八
第七	上石棺內遺物配置圖(濱田、梅原)	七、九、五八、六三
第八	上發見土器(一)	一九、二一
第九	上發見土器(二)	一九、二一
第一〇	上土器圖(島田)	一九、二一
第一一	上黃金耳飾並銅鏡	二二、三三、三三、六四、六九
第一二	上切子玉棗玉	二二、二四
第一三	上金銅冠	二四、二六、七〇、七二
第一四	上金銅雙魚珮	二七、二八、七三、七四
第一五	上金銅沓並半筒形金具等	二八、二九、七二、七三

本文頁
三六、三八

圖 版 目 次

圖版目次

第一六	同	上金銅三輪玉形及半球形品、銅鈴、銀製釧形品及木片	二六、二七、二九、三〇、四五、四六、七五
第一七	同	上環刀、大刀並鹿角柄短刀	三三、三四、三八、三九、七、七八、八二
第一八	同	上鹿角拵太刀	三四、三六、八二、八六
第一九	同	上鹿角拵刀子(一)	三六、三八、八二、八六
第二〇	同	上鹿角拵刀子(二)	三六、三八、八二、八六
第二一	同	上鞍金銅裝飾部	四一、四二
第二二	同	上杏葉	四三、四四
第二三	同	上轡並雲珠	四二、四四、四五
第二四	同	上斧頭、石突、鐙及埴輪破片等	二一、三九、四〇、四二、四六
卷末	水尾村古墳所在地附近地圖	(陸地測量部二萬分一地形圖大溝村分載)	一一五

附錄圖版 第一	日本發見金製耳飾	表一
同上 第二	上刀劍環頭圖	表二
同上 第三	上刀劍環頭圖(梅原)	表二
同上 第四	上鹿角製刀劍裝具	表三
同上 第五	上鹿角製刀劍裝具圖(梅原)	表三

小圖目次

第一圖	琵琶湖沿岸略地圖(濱田)	二
第二圖	水尾村古墳石棺內見取圖(友岡氏原圖)	七
第三圖	同 上石室並石棺實測圖(水尾村役場所藏圖)	一三
第四圖	同 上發見切子玉及棗玉圖(梅原)	二四
第五圖	同 上金銅冠復原及細部圖(濱田、梅原)	二五
第六圖	同 上金銅三輪玉形及半球形金具圖(梅原)	二五
第七圖	同 上金銅雙魚珮圖(梅原)	二八
第八圖	同 上金銅杏復原圖(梅原)	三一
第九圖	同 上鏡拓本	三一
第十圖	大和新山古墳發見鏡拓本	三一
第十一圖	水尾村古墳發見鹿角拵刀子圖(濱田)	三七
第十二圖	同 上鹿角柄短刀圖(濱田)	三八
第十三圖	同 上斧頭石突並同着裝想像圖(梅原、濱田)	三九
第十四圖	同 上直弧紋彫刻木片圖(濱田)	四〇
第十五圖	同 上雲珠並杏葉圖(梅原)	四三
第十六圖	朝鮮龍岡雙楹塚壁畫騎馬圖(朝鮮古蹟圖譜第二)	四四

第十七圖	唐代明器三彩土馬圖 (京都帝國大學所藏)	四五
第十八圖	水尾村古墳所在地地籍圖 (同役場藏) 及古墳復原圖	五一
第十九圖	高野山へ巨石運搬圖 (ゴーランド論文所引)	五四
第二十圖	シリヤ國ビブロス地下壙石棺圖 (雜誌シリヤ所載)	五六
第廿一圖	伊太利ローマ發見陶棺圖 (モンテリウス圖譜所載)	五七
第廿二圖	近江三上山附近古墳發見鏡面附着魚珮 (山川氏所藏)	六六・六七
第廿三圖	朝鮮大同江面第九號古墳發見帶留 (朝鮮總督府博物館藏)	六六・六七
第廿四圖	朝鮮慶州金冠塚發見魚珮 (朝鮮總督府博物館所藏)	六六・六七
第廿五圖	伊豫妻鳥古墳發見金銅冠圖 (諸陵寮所藏)	七四・七五
第廿六圖	常陸木原村古墳發見刀子 (東京帝國大學所藏)	七四・七五
第廿七圖	肥後江田古墳發見金銅冠圖 (ゴーランド論文所載等)	七一
第廿八圖	同 上金銅脊圖 (同上)	七三
第廿九圖	西比利亞發見雙獸柄頭劍 (ミンス氏著書所載)	七九

大正十二年十一月十五日印刷
大正十二年十一月廿五日發行

發行者 京都帝國大學

印刷人

桂

千

代

造

京都市下京區柳馬場三條

印刷所

株式會社似玉堂

京都市下京區柳馬場三條

REPORT
UPON
ARCHÆOLOGICAL RESEARCH
IN THE
DEPARTMENT OF LITERATURE,
KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY

Volume VIII.]

[1922—1923.

CONTENTS

Ancient Sepulchre at Midzuo, Takashima-gun, in the Province of Omi
By Professor Dr. K. Hamada & S. S. Umehara.

Corpus of the Gold Ear-pendants, Ring-shaped Pommels of the Swords, and
Deer's Antler Work Ornaments of the Swords and Knives,
found in Japan.



PUBLISHED

BY

THE KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY

1923